神明コミュニティだより

No.３５

Ｈ２１．３．２４
鯖江市神明小学校

Community ： 深い結びつきをもった共同体

○学校評価

今年１年の本校の取り組みについて、保護者の方に評価をしていただきました。裏面に集計結果を掲載してあります。数字ばかりで読みづらいとは思いますが、結果を分析し、改善策を以下のように提案いたしますので、ご一読いただき、また来年度へのご意見など頂戴できれば幸いです。

鯖江市神明小学校　学校評価書

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善策・向上策
豊かな心の育成を図る	「３－あ－ｗｅｅｋ」を設定し、あいさつ・あんぜん・あたたかい心の実践を推進する。	・「あいさつ」「あんぜん」に関しては学校内外を問わず児童の意識は高まってきているが、積極性に課題が残る。 ・「あたたかい心」については、教師側が多様な手立てを試みているが、手伝い等、他者のために行動する習慣が学校のみならず家庭でも身についていない。	・児童が主体的に行動するように、教師側の働きかけはバックアップという形をとる。また、教師は道徳や特別活動等でも、関連して指導を継続する。 ・児童が一人一役で学級や学年、全校に働きかけられるような手立てをサークルを主として企画する。 ・年度当初に各家庭で『わが家の３－あ原則』を決めてもらうなど、家庭との連携を深める。

確かな学力の向上を図る	読書活動の充実を図る。	・朝読書や読み聞かせなど、全校を挙げての活動はできたが、さらに進んで各担任が工夫していくことには課題が残った。 ・低学年は、目標冊数をほとんど達成できたが、学年があがるにつれて読む冊数は少なくなっている。 ・学校での読書活動を家庭に浸透させるまでには至らなかった。	・さらに共通理解を深め、アイデアを出し合いながら教師の意識を高めていく。 ・高学年は、冊数＝読書量にはならないから、ページ数を累計していくなど、読書カードの書き方を変える。また、読み聞かせの機会を増やしたり、本の紹介をしたりするなど読書環境を整備する。 ・月一回、家庭での読書推進の日を設ける。また、休日の家庭学習に読書の課題を設定する。
気力・体力と健康の増進を図る	持久走の個人記録の向上に努める。	・めあてをもって取り組む児童が増えた。また、最後までねばり強く走る児童も増えた。	・一人一人に応じた目標を設定し、その子の成長に目を向けて支援していく。
	歯みがきの習慣化を図る。	・歯みがきプレートの使用と教員の指導により、給食後の歯みがきは習慣化されている。 ・朝の歯みがきをしてこない児童がいる。	・着席して歯みがきすることにより、歯を磨くことに集中できる。手鏡をもってていねいに磨くように意識させる。 ・チェックカードやお便り等で家庭に啓発していく。要望があれば、講演会など開催する。

○ありがとうございました。平成20年度

今年度も大きな事故・事件がなく、無事終えられそうです。ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

しかし、油断は禁物。春休みは暖かな季候も手伝って、気が緩みがちです。交通事故にはくれぐれもお気を付けください。自転車に乗るときの注意を繰り返しお願いします。また、連日火事のニュースが報道されています。お子さんだけで留守番をすることもあると思います。火の取扱いには十分ご配慮ください。

新年度に、また元気にお会いしましょう。

生活・学習に関するアンケートの結果

重点目標1　「豊かな心」の育成を図る
具体的取組　「3－あ－Week」を設定し、あいさつ・あんぜん・あたたかい心の実践を推進する

あいさつ

（取組指数）　あいさつが習慣化するように継続的に指　評価者：教師	結果（割合）	
A　日常的に一斉指導と個に応じた指導を行った	76%	100%
B　日常的に一斉指導を行った	14%	
C　時々、必要に応じて指導した	10%	
D　あまり指導できなかった	0%	0%

（成果指数）　あいさつに意識して取り組むようになった　評価者：児童	結果（割合）	
A　いつも自分からあいさつができた	28%	99%
B　だいたい自分からあいさつができた	59%	
C　相手からされると、あいさつができた	13%	
D　あいさつができなかった	1%	1%

（満足度指数）　子どもが、あいさつをするようになった　評価者：保護者	結果（割合）	
A　親や地域の人にも自分からあいさつができている	23%	100%
B　だいたい自分からあいさつができている	47%	
C　言葉をかけるとあいさつができている	29%	
D　言葉をかけてもあいさつができない	0%	0%

あんぜん

（取組指数）　学校内外で安全に生活できるよう継続的に指導する　評価者：教師	結果（割合）	
A　日常的に一斉指導と個に応じた指導を行った	62%	100%
B　日常的に一斉指導を行った	24%	
C　時々、必要に応じて指導した	14%	
D　あまり指導できなかった	0%	0%

（成果指数）　安全を意識して生活するようになった　評価者：児童	結果（割合）	
A　いつもルールを守って落ち着いた行動ができていた	25%	98%
B　だいたいルールを守って落ち着いた行動ができていた	59%	
C　ルールを守ろうと心がけていた	15%	
D　ルールを守らず、けがなどが多かった	2%	2%

（満足度指数）　子どもが交通ルールを守るようになった　保護者：保護者	結果（割合）	
A　自分から積極的に交通ルール等を守って行動できている	30%	100%
B　だいたい交通ルール等を守って行動できている	61%	
C　声かけをすると交通ルール等を守って行動できている	9%	
D　注意しても行動に変化が見られない	0%	0%

あたたかい心

（取組指数）　自他の敬愛と協力について継続的に指導する　評価者　教師	結果（割合）	
A　多様な手だてをとり、あらゆる機会をとらえて全体と個に指導した	57%	100%
B　多様な手だてをとり、あらゆる機会をとらえて全体に指導した	19%	
C　必要に応じて多様な指導を行った	24%	
D　あまり指導できなかった	0%	0%

（成果指数）　相手の嫌がることを言ったりしたりしないようになった　評価者　児童	結果（割合）	
A　よく、友達のことを考えて優しい言葉をかけたり、進んで仕事をしたりしていた	19%	92%
B　友達のことを考えて優しい言葉をかけたり、進んで仕事をしたりしていた	46%	
C　相手の嫌がることを言ったりしたりしなかった	27%	
D　相手の嫌がることを言ったりしたりしてしまった	8%	8%

（満足度指数）　子どもが家の手伝いをするようになった　評価者　保護者	結果（割合）	
A　いつも自分から進んで手伝いができている	10%	95%
B　時々自分から進んで手伝いができている	47%	
C　声かけをすると手伝いをしている	39%	
D　言われてもめったに手伝いをしない	5%	5%

重点目標2 「確かな学力」の向上を図る
具体的取組　読書活動の充実を図る

（取組指数）　朝読書・親子読書・読み聞かせなど読書に親しむ機会を設け、読書環境を整える　評価者：教師	結果（割合）	
A　児童がすすんで読書できるように自ら工夫して取り組んだ	35%	85%
B　取り組んだ	50%	
C　あまりできなかった	15%	15%
D　できなかった	0%	

（成果指数）　学年に応じた読書目標冊数を読んでいる　評価者：児童		結果（割合）	
低・中学年	高学年		
A　４０冊以上	３０冊以上	49%	67%
B　３０～３９冊	２０～２９冊	18%	
C　１０～２９冊	１０～１９冊	25%	33%
D　１０冊未満	１０冊未満	8%	

（満足度指数）　子どもが家庭で読書に親しんでいる　評価者：保護者	結果（割合）	
A　本を読む姿がよく見られる	18%	62%
B　本を読む姿が時々見られる	44%	
C　あまり読書していない	28%	38%
D　ほとんど読書していない	10%	

重点目標3　気力・体力と健康の増進を図る
具体的取組　持久走の個人記録の向上に努める

（取組指数）　自分の記録を伸ばすため、目標をもたせて、継続的に指導する　評価者：教師	結果（割合）	
A　目標をもたせ、継続して取り組めるような工夫をした	15%	95%
B　目標をもたせて、継続的に指導した	50%	
C　必要に応じて指導した	30%	
D　ほとんど指導できなかった	5%	5%

（成果指数）　記録を伸ばそう努力した　評価者：児童	結果（割合）	
A　いつも自分のタイムや順位を意識して練習に取り組んだ	42%	99%
B　時々、自分のタイムや順位を意識して練習に取り組んだ	37%	
C　練習は、歩かずに最後まで走りきった	20%	
D　練習の時に、歩いたり休んだりすることが多かった	1%	1%

（満足度指数）　走ることが楽しくなった　評価者：児童	結果（割合）	
A　走ることが好きになり、進んで走っている	24%	96%
B　走ることが好きになった	43%	
C　好きではないけれど、最後まで走れるようになった	29%	
D　走ることが楽しくなかった	4%	4%

具体的取組　歯みがきの習慣化を図る

（取組指数）　給食後の歯みがきが習慣化するよう指導する　評価者：教師	結果（割合）	
A　歯磨きの大切さを知らせ、自ら歯磨きに取り組むよう指導した	40%	100%
B　歯みがきを５分間するよう指導した	20%	
C　毎日、給食後、声かけをした	40%	
D　あまり指導できなかった	0%	0%

（成果指数）　進んで歯みがきに取り組むようになった　評価者：児童	結果（割合）	
A　丁寧に、自分から歯みがきをすることができた	40%	99%
B　自分から、歯みがきをすることができた	46%	
C　声をかけられ、することができた	13%	
D　できなかった。	1%	1%

（満足度指数）　家庭での歯みがきが習慣化している　評価者：保護者	結果（割合）	
A　いつも自分から歯みがきができている	46%	99%
B　時々、自分から歯みがきができている	31%	
C　声かけをすると、歯みがきができる	23%	
D　言われても歯みがきができない	1%	1%